

公益財団法人斎藤茂吉記念館令和6年度事業計画書

1, 公益事業

(1) 斎藤茂吉に関する情報・資料等の展示(斎藤茂吉記念館の公開)事業

ア, 常設展示 - 地階: 常設展示室「斎藤茂吉とその作品」展

斎藤茂吉の足跡を辿りながら、数々の業績と魅力を伝える作品「自筆書画・原稿・書簡・著書・遺品」などの展示・解説のほか、茂吉を深く理解するためのデジタル機器・グラフィック解説板・ジオラマを活用して、ふるさと山形・上山を生涯愛し続けた茂吉の様子などの紹介を主軸とした展示構成で展示する。(前年度から継続)

○茂吉世界へのいざない(動画・ジオラマ演出) ○茂吉森羅万象(国内・海外・ふるさと/デジタル画像等展示) ○茂吉交遊相関図(少年期・青年期・壮年期・医学期・晩年期) ○茂吉とふるさと山形・上山(茂吉少年の庭/生家周辺古地図) ○茂吉の生涯(ジオラマ解説:2台) ○茂吉の作歌姿勢 ○医学者茂吉(ジオラマ解説) ○茂吉の書画(日記・手帳の常時公開) ○茂吉の業績 ○茂吉の交遊 ○茂吉の著書 ○茂吉の肖像 他

イ, 常設展示 - 地階: 映像展示室「斎藤茂吉の世界とその時代」

斎藤茂吉の生涯を概観し常設展示資料を補足するための映像を、定時的に上映(約18分間・デジタルハイビジョン画像/静止画)する。※映像解説資料「映像に出てくる斎藤茂吉のうた」を室内に配置する。

ウ, 常設展示 - 1階: 集会室「茂吉の晩年そして終焉へ、家族・周辺の人びと」展

斎藤茂吉が死去した居間・書斎(晩年の居室)の展示、次男宗吉(北杜夫)旧蔵の茂吉の遺骨保管のための仏壇・骨壺・骨箱類の展示、茂吉晩年の様子を示すエピソードと密接にかかわる人びとを紹介するとともに関連資料を展示する。また、2番組選択の映像展示として「父・茂吉の思い出」と「茂吉追憶」、情報検索装置として「茂吉アーカイブス・茂吉ライブラリー」を設置する。

エ, 常設展示 - 1階: ロビー「茂吉の人となり」「短歌とは/短歌全史」「斎藤茂吉短歌文学賞」「斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール」の展示

展示室入口(階段・エレベーター通路脇)壁面を利用した展示として、タッチパネル式ディスプレイ(デジタルコンテンツ: 斎藤茂吉記念館概説、茂吉全史/年譜、茂吉歌碑マップ)とグラフィックパネル(短歌とは・短歌全史/近代短歌の系譜、全国の歌碑分布状況と建立数)及びメッシュパネル(斎藤茂吉短歌文学賞/事業概要・第1回から第35回までの各回受賞者の紹介、斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール/事業概要・令和5年度第21回最優秀賞作品6首と優秀賞作品60首、入選作品200首)を掲示する。

オ, 常設展示-別棟(みゆき公園内): 「箱根山荘の勉強部屋」の設置

神奈川県箱根強羅の斎藤家別荘離れとして、茂吉が毎年夏に避暑・原稿等執筆のため滞在した「箱根山荘の勉強部屋」と「移築記念碑」の設置(上屋内)箇所において、音声解説装置と解説板(グラフィック展示)を設置する。※人感センサーによる音声解説と照明設備の起動設備設置

カ, 常設設置-1階: ロビー「キッズサロン」「茂吉なりきり写真館」「茂吉短歌ポスト」等の各設置

入館した子どもから大人まで、楽しく遊びながら斎藤茂吉に親しむ空間として、ロビーの一部を利用した「キッズサロン」(茂吉短歌かるた・茂吉パズル・市販の学習遊具・絵本などを配置)、茂吉に変身して記念撮影を行う「なりきり写真館」、気軽に作歌するための「茂吉短歌ポスト」の館内投稿窓口(ポスト)、茂吉自作短歌朗詠装置を設置する。

キ、常設設置-1階：受付にて貸出「展示情報等音声解説機器／音声ガイド」の設備設置と活用

施設概要・展示内容・作品鑑賞等の情報提供による入館者へのサービス向上等を目的に機器設備(日本語解説15台、英語訳解説5台の計20台)を有料で貸出す。

※機器利用時において日本語・英語対応プログラムガイドを配布する。

ク、特別展

斎藤茂吉記念館及び斎藤茂吉の周知等を目的に開催する。

特別展の案内チラシには、特別展開催期間中の小、中、高校生の記念館入館料金は無料とする割引特典を付すと共に、特別展をテーマにした公開講座の案内も併せて掲載する。

◎「旅する斎藤茂吉 その瞳は何を映したか」

斎藤茂吉が旅をした際に目に感じてしたことを記した短歌や随筆、そして絵画などの資料を中心に、今もなお茂吉の足跡を示す各地の歌碑についても紹介しながら、茂吉作品の創作に対する理解を深めていただく。

※会期：令和6年4月27日(土)から令和6年8月31日(土)まで

※会場：守谷夫妻記念室(地階)

◎「茂吉とめぐり逢う人たち 影響を受け、与えた人」

茂吉が多方向にわたり生み出した芸術的作品の基となった著名な文人・画人、茂吉に影響を受けた現代歌人などを紹介しながら、広く文学・芸術などに関心を寄せている人たちに対し著名人などを介して茂吉に興味を持ってもらい、優れた作品が生み出された根底を探る。

※会期：令和6年9月14日(土)から令和7年3月31日(月)まで

※会場：守谷夫妻記念室(地階)

(2) 資料の保存・整理と調査・報告事業

ア、資料管理のための環境等整備

寄託品を含む収蔵資料を円滑に活用するため、収蔵庫及び管理台帳等の整理と保存環境の整備(分類保管の再編)、資料等データ検索のための諸情報整備に努める。

イ、新たな展示に対応するための資料等の収集・整理

斎藤茂吉の魅力を高める新たな展示構成に対応し、収蔵資料の拡充とともに特別展等の円滑化を図るため、斎藤茂吉を中心とした作品等の所蔵者実態把握とともに収集(寄贈・寄託)に向けた協力依頼等に務める。

ウ、遺族からの資料の内容確認と整理

遺族からの寄贈・寄託品(茂吉の長男・次男の遺品類)の内容確認と整理、一般公開に向けた準備を推進する。

エ、展示活用のための収蔵資料の修復(修繕)等の実施

今後の活用のため、収蔵資料の修復と修繕などを行う。

オ、短歌・斎藤茂吉関連刊行物の調査と資料収集

県内短歌関連刊行物(歌集・歌論集等)と斎藤茂吉と親交した文人等の著作物収集に努める。

カ、斎藤茂吉に関する調査研究・啓発・年次報告等のための印刷物

◎「公益財団法人斎藤茂吉記念館年報 通巻第39号」(令和5年度)

公益財団法人斎藤茂吉記念館の前年度の決算後における諸事業等の年次報告冊子として、令和6年12月中旬を目処に発刊する。

◎館報「茂吉記念館だより 第27号」

斎藤茂吉記念館及び斎藤茂吉の普及・拡大・研究等の冊子として、外部研究者等の寄稿を中心に、新規収蔵品、記念事業内容などを掲載して令和6年12月中旬を目処に発刊する。

(3) 学芸及び文化振興のための普及事業

ア、斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール(共催)

◎令和5年度第21回応募作品における最優秀作品(6作品)の表彰(最優秀賞受賞者の表彰)

第50回斎藤茂吉記念全国大会開催時の令和6年5月19日(日)に表彰する。

◎第22回短歌作品募集と選考(作品選歌)

小・中・高校の児童・生徒を対象とした短歌作品の応募要項策定・募集(学校単位及び短歌団体ごとの応募)と、選考委員(第1次・第2次)による作品選考(最優秀賞・優秀賞・入選作品)を行う。

◎入選作品集発刊 入選作品集「桜実(Sakurago)」

第22回(令和6年度)最優秀・優秀・入選作品全200首・選考委員の選評・最優秀作品受賞のことば等掲載、令和7年3月中旬に発刊する。

◎最優秀・優秀・入選作品掲示(斎藤茂吉記念館内ロビー壁面)

第21回(令和5年度)最優秀作品(小・中・高校各部門2首/計6首)・優秀賞作品60首・入選作品全200首と事業概要を掲示する。

イ、公開講座

斎藤茂吉記念館の周知・誘客と茂吉に対する理解の向上等を目的とした公開講座事業の一環として、特別展の魅力を深掘りし詳しく解説するため、山形県歌人クラブ所属の歌人をインタビュアーとして招き、担当学芸員の座学とギャラリートークによる講座を年度内2回開催する。

◎茂吉講座／第1回「茂吉の足跡をたどる」

日時：令和6年6月16日(日) 午後1時30分～午後2時30分(開場:午後1時)

会場：斎藤茂吉記念館内集会室(1階)、守谷夫妻記念室(地階)

講師：斎藤茂吉記念館学芸員

運営協力：山形県歌人クラブ所属歌人1名

定員：40人(参加費：斎藤茂吉記念館入館料)

◎茂吉講座／第2回「茂吉を偉大にした先人たち」

日時：令和6年10月6日(日) 午後1時30分～午後2時30分(開場:午後1時)

会場：斎藤茂吉記念館内集会室(1階)、守谷夫妻記念室(地階)

講師：斎藤茂吉記念館学芸員

運営協力：山形県歌人クラブ所属歌人1名

定員：40人(参加費：斎藤茂吉記念館入館料)

◎出張(出前)講座

県内諸団体(非営利)主催の講演会・研修会等における斎藤茂吉及び短歌(作歌)等を学習テーマとした際の講師派遣を行う。(年度内随時受付) *講師:斎藤茂吉記念館館長・同職員

ウ、茂吉短歌ポスト

広く短歌を普及するため「短歌ポスト」を通年設置(館内に投稿箱配置)すると共に、投稿用紙の作成・配布(市内施設等)、投稿作品の選歌(50首を目処)と入選者公表、作品集の発刊を行う。

エ、ホームページ

斎藤茂吉記念館・斎藤茂吉に関する諸情報の提供、主催する諸事業に関する情報の発信等を目的にホームページを開設しており随時情報を更新する。

オ、観光・宿泊施設と飲食店等に対する「普及版パンフレット」の作成・配布(設置)

上山市内滞在の宿泊者及び同市内飲食店利用者等を対象として、斎藤茂吉記念館の周知と誘客のため、施設(内・外)概要・展示内容ほか、次年度の年間行事・諸事業スケジュール等を記載したパンフレットを年度内に作成し対象施設等に配布する。(1年毎更新配布)

(4) 歌会及び記念事業等、斎藤茂吉の業績顕彰事業

ア、斎藤茂吉記念全国大会(共催)

斎藤茂吉の業績顕彰と学芸文化の振興のため、斎藤茂吉記念全国大会と関連事業として斎藤

茂吉記念歌集を発刊する。

◎第50回斎藤茂吉記念全国大会

※令和6年5月19日(日)午前9時30分から午後3時50分までの時間帯にて諸行事を実施

○墓前行事(宝泉寺)：法要・記念歌集献上／関係者のみ参列 午前9時30分から午前9時50分

※斎藤茂吉記念館は自由見学(5月17日～同20日まで事前申込者に限り入館無料)

○記念行事 午後1時00分から午後3時50分 ※行事参加(入場)は無料

※会場：三友エンジニア体育文化センター(上山市体育文化センター)エコーホール

*第35回斎藤茂吉短歌文学賞贈呈式(贈呈/選考経過報告/受賞者挨拶)

*第21回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール最優秀賞作品表彰式(受賞対象者6人/選考経過報告)

*斎藤茂吉記念全国大会50年を顧みる(運営委員：雁部貞夫)

*斎藤茂吉記念歌集50年の歩み(運営委員：皆川二郎)

*50回記念トークセッション 登壇者(歌人)：小池光・小島ゆかり・三枝昂之・永田和宏の4氏

※トークテーマ「私のなかの斎藤茂吉」

◎斎藤茂吉記念歌集第50集

一般作品を収載し発刊(令和6年5月14日/斎藤茂吉生誕日)する。※第50回斎藤茂吉記念全国大会開催時において墓前(宝泉寺)に供え、投稿者には全国大会参加時及び後日郵送等により配布する。

◎第36回斎藤茂吉短歌文学賞事業

山形県と共催事業として実施する。

◎第51回斎藤茂吉記念全国大会事業(共催)

実施要項の策定及び参加募集と周知(チラシ等作成)、参加者の増加を目指した新たな行事等の企画の検討、同記念歌集第51集の投稿募集と周知・歌集発刊準備(編集)に当たる。

※開催予定日：令和7年5月18日(日)

イ、第58回茂吉忌合同歌会(共催)

斎藤茂吉の顕彰と山形県内歌壇等の振興・交流等を図るため、茂吉を追悼する超結社の歌会として、茂吉の命日に開催する。

※開催予定日：令和7年2月23日(日)午後 会場：斎藤茂吉記念館 集会室

実施内容：歌会参加と作品の募集・選者講評・特選入選者表彰等

ウ、業績顕彰事業内容の見直し

斎藤茂吉記念全国大会事業に賛同する歌人の高齢化と参加者の減少傾向が近年特に顕著であり、新型コロナウイルスとの共生を前提とした対応も含めた中・長期的展望に立った事業の基本的内容の再検討を、前年度からの継続事項とする。

エ、斎藤茂吉生誕記念日の普及

茂吉の生誕日5月14日を「斎藤茂吉記念日」として、一般社団法人日本記念日協会より認可を受け、第48回の斎藤茂吉記念全国大会開催時に発表した記念日について、事業実施時及び新聞・雑誌等広告掲載時に表記するなど普及に取り組む。

(5) 関連団体等の文化活動に対する協力

ア、かみのやま博物館連絡会(上山市内博物館3館)事業

3館共同印刷物「かみのやまウエルカムパスポート」の発行(前年度からの継続)と各館有益な共催事業を検討・企画する。

※文芸誌等に対する情報提供(広告枠掲載/毎月)

イ、上山市立図書館に対する展示協力

上山市民を対象に斎藤茂吉記念館及び斎藤茂吉の認知と誘客のため、「茂吉とふるさと上山(蔵王)」をテーマに上山市立図書館入口に常設する茂吉の展示コーナーをリニューアル(前回展

示「斎藤茂吉の概説・業績等の紹介」の更新等)する。

ウ、各地関連施設の企画展及び刊行物発刊等に伴う情報・資料提供等

博物館等関連施設の企画展開催、地元大学主催の企画（山形芸術工科大学主催「山形ピエンナーレ」）の協力、自治体・出版報道機関・短歌団体・個人等からの情報・資料提供(出品)・調査・執筆等の要請に協力する。(年度内随時)

2, 物販事業

公益事業の推進に資するための斎藤茂吉記念館内における物販事業

収蔵・展示資料等に関連した自主作製品の販売と、見学者に有益な資料を供するための委託販売を行う。さらに、販売実績向上を目指した新規商品の開発と絶版品の再製品化、上山市ふると納税返礼品としての販売の推進、ホームページを活用した通信販売等に努める。

3, 法人運営及び施設管理事業

(1) 法人運営

ア、斎藤茂吉記念館友の会に関する規程に基づく運営

斎藤茂吉記念館に対する協力及び理解を高め、事業活動の推進に資することを目的として斎藤茂吉記念館開館50周年を記念して平成29年度において制定した公益財団法人斎藤茂吉記念館友の会に関する規程に基づき、入会の勧誘・促進を図り、公益事業全般の充実等に活用する。あわせて、活動支援募金に取組み、所蔵作品・資料の修復や記念館の設備更新等費の一部として活用する。

イ、公益財団法人斎藤茂吉記念館大使の任命

斎藤茂吉並びに斎藤茂吉記念館の普及・周知等のために、斎藤茂吉の親族を大使に任命しているが、任期満了に伴い継続任命(令和6年4月1日～同8年3月31日までの2年間)する。

※委嘱状の交付：令和6年4月1日

ウ、斎藤茂吉の遺族・親族等に対する対応

上山市金瓶「宝泉寺」の斎藤茂吉墓域管理並びに整備等に協力する(金瓶学校保存会の活動に対する協力等)

(2) 施設管理

ア、管理規則第3条第1項の各号に基づく休館及び休館期間中の活用

管理規則に基づく休館を実施し、休館期間中を活用した諸業務を推進する。

○第3条第1項第1号に基づく休館「水曜日」

○第3条第1項第2号に基づく休館「国民の祝日に関する法律第3条第2項に規定する振替休日」

○第3条第1項第3号に基づく休館「前2号に規定する休館日に重なる場合は、その翌日」

○第3条第1項第4号に基づく休館「12月28日から翌年1月3日まで及び7月第2週の7日」

※7月の休館日(令和6年7月7日[日]から同13日[土])を利用した施設・設備の点検、展示ケース内の管理(設備・資料等の点検・清掃)、収蔵庫内の資料整理

イ、斎藤茂吉記念館施設と周辺施設の利用・管理・改修

○既存建物・設備等老朽箇所の点検と修繕の実施

○経年による劣化機器、設備の更新

○屋外案内表示板の修繕と整備